

NPO法人

第81号

芦安ファンクラブ通信

南アルプス地域の自然を愛するすべての人達に対して、地域の人々との交流を通じた南アルプスの環境保全及び適正利用に関する事業を行い、もって、南アルプス市芦安地域の活性化に寄与する。

～芦安ファンクラブの理念～

特定非営利活動法人芦安ファンクラブ 事務局 南アルプス市芦安芦倉 1578
TEL 090-4135-3193 FAX 055-288-2722 HP <http://ashiyasu.com> メール mail@ashiyasu.com

「2022 夏山シーズンイン！」

芦安ファンクラブ 中込 景子

【南アルプス開山祭】

今年も南アルプスの開山の日を迎えました。我々人類は、未だ新型コロナウイルスの蔓延に翻弄される日々を送っているわけですが、久しぶりに見る北岳は相変わらず堂々たる姿でそこに存在していて、日々の混乱を束の間忘れさせてくれるようでした。

6月25日(土)。南アルプス開山の日は、6月というのが信じられないほどの快晴。爽やかな風が野呂川を吹き抜けていました。芦安小中学生の歌が響き渡り、案内人たちが勇壮に蔓を払い、無事開山されました。また、新しい広河原山荘のオープニングセレモニーも行われ、立て替えられたばかりの小屋がお披露目されました。これから多くの登山者の思い出の場所となっていくことでしょう。



【芦安小中学生広河原学習会】

午後から開山祭で素晴らしい歌声を披露してくれた芦安小中学生と広河原園地で学習会が行われました。ガイドは芦安ファンクラブの清水准一会長です。小学生はメモを、中学生は一眼レフカメラを手に、清水さんの話や足元の草花に興味津々の様子でした。

園地内の東屋では中村儀助についての青空講座が開かれました。中村儀助は木曾のきこりの頭領で、江戸城修理のための木材を野呂川流域から伐り出すことを請け負い、芦安へとやってきました。儀助は大量の巨木を伐り出した後、途中で命を落とし、芦安地区の光明寺にその墓があります。講座の中では、現代のような機械のなかった当時の苦労やそれをやってのけた中村儀助の偉大さを少しでも理解してもらおうと、お手製の紙芝居や伐り出した木の実物大の絵が登場しました。小中学生も興味をもってたくさんメモを取っていました。



講座の後は、いよいよきこり体験です！初めて見る大きな斧に目を見張る子どもたち。さらに、手に持ってみてその重さに、振り下ろしてみても手に伝わる振動の大きさに驚きの声を挙げていました。儀助が木を切った時は、コーンコーンと軽やかな音が山中に響き渡ったそうですが、子どもたちも負けず劣らず良い音を響かせていました。

芦安の子どもたちですから、かつて林業や炭焼きが盛んだったことや中村儀助の名前などは知っていることと思いますが、今回の学習会を通して体感として学ぶことができたのではないのでしょうか。



第 61 回登山教室参加者の声

—語り部と歩く北岳散策（夏編）— 南 絵真（東京都）

今回、山小屋で知り合った小泉さんに声をかけていただき参加いたしました。

登山を始めて10年以上ですが、ガイドさんと一緒に登るのは人生初。南アルプスは仙丈ヶ岳しか登ったことがないので楽しみにしていました。

あいにくの雨登山でしたが芦安鉱山や宣教師ウェストンのお話。白根御池小屋でのプロジェクターを使ったワークショップは初めて知ることばかりで美しい大自然の素晴らしさを改めて感じることができました。

若い頃は、とにかく百名山。山頂に行くことだけ考えていましたが、それぞれの山の歴史に人々の暮らしを学ぶことができいつもとは違った登山で楽しかったです。でも…やっぱり北岳のピーク、キタダケソウは見てみたいのでまた次回四季を通して参加できたらと思います。ご一緒したみなさま、芦安ファンクラブのみなさまお世話になりました



安通公園・瀬戸千段の滝整備（2022. 4. 13）

瀬戸千段の滝を整備して 芦安ファンクラブ 西村正人

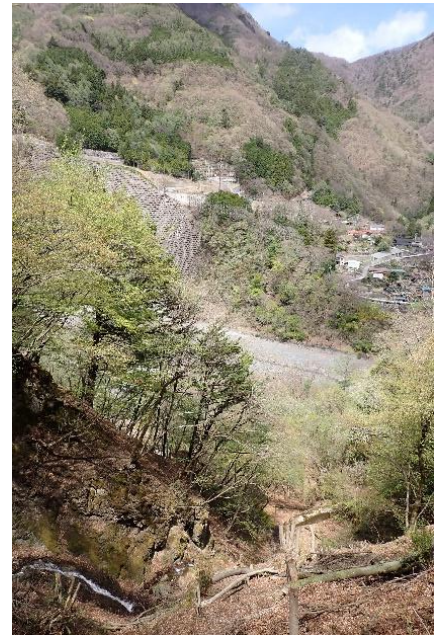
朝 8 : 0 0 芦安ふれあい館駐車場に芦安ファンクラブのメンバーと地域の有志の方々が集合した後、安通公園整備と瀬戸千段の滝遊歩道整備の二手に分かれて作業することになりました。

瀬戸千段の滝の展望台までは道路際の入口から 1 5 分ほどで登りますが、その遊歩道は冬の間に雪や雨で崩れて道幅が狭くなったり、倒木があったり、また落ち葉に埋もれて歩き辛くなっていました。

展望台から見る瀬戸千段の滝は“一見の価値アリ”です。また見上げる滝の反対側もいくつかの木が伐採され、芦安と御勅使川を見下ろす素晴らしい眺めとなっています。

参加者で展望台から少しずつ下りながら、丁寧にきれいに整備していきました。

快晴と満開の八重桜とおいしい弁当、心地よい疲労感の一日となりました。



展望台からの芦安展望



瀬戸千段の滝展望台



ヒナスミレ



遊歩道整備



ヒトリシズカ

安通公園の遊歩道を整備して 芦安ファンクラブ 森本聖治



遊歩道整備



水路修復

今年も芦安ファンクラブでは、虎御前の鏡立石のある公園内の、遊歩道と水路に入った土砂や木の葉が堆積しているのを取り除き、綺麗に整備しました。水路には上の方の沢から水を取り入れて公園内にある滝に水を落とし、木立の中に涼しく癒される場所ができたと思います。この遊歩道整備には、芦安ファンクラブ以外にも地域のお母さんが子供さんを連れて手伝いに来てくれたり、また別に二人の奥様方も手伝ってくれました。午前中で公園までは終わりましたが、公園から下の方の水路も木の葉で埋もれていて水が溢れていたなので、その水路も下で合流するところまで、二時間くらいかけて水の流れを見ながら整備しました。この公園は、春になるとカタクリや桜の花が咲く静かな良い公園です。もっと多くの人に訪れて欲しい所です。この整備に参加してくれた皆さん、ほんとうにご苦労様でした。



滝が復活



元気いっぱい、笑顔いっぱい、やさしさいっぱい みんなで登頂「夜叉神峠」芦安ファンクラブ 堀内 訓

毎年恒例の芦安小学校3・4学年の夜叉神峠登山が今年も6月10日（金）に行われました。梅雨のはしりはぐずついた日が続くといわれますが、まさに言葉通りになり、天気をとて心配していました。さて、当日の天気はどうでしょうか？

待ってました！ 梅雨の晴れ間というのはこのことでしょうか。登山口から観る南アルプスの山々は、昨日までの雨に洗われて輝いています。さあ、小学生10名、教師、保護者、ガイドが一同にそろい、峠に向かって登山が始まりました。頑張った小学生の活動を紹介します。



毎年4年生が樹名板をつけています



山の神に登山の安全をお願いしました



ネイチャーゲーム

色合わせゲームでは五感を使ってさがしました
目玉を置いて、不思議な生物を生み出しました



峠周辺の清掃作業、昔のゴミを片付けました

夜叉神峠に登るのが大変でしたが、写真で女の人が薪を50キロも背負っていたのを見てわたしもがんばろうと思って登りました。紙しばいは、夜叉神の神様のことがよくわかってよかったです。また、来年も夜叉神峠に登りたいと思いました。

3年 かわて しおん

とても疲れたけど、頂上で食べたお弁当はとてもおいしかったです。ガイドさんの説明はとてもわかりやすかったです。炭焼きがまの中をのぞくと丸太が入っていたので、これをどうやって入れたのかふしぎでした。5本松はとても太かったです。来年は白根御池に登ります。4年 ひきた たく

木の実を使って「かわいいクラフト」ができたよ

森林学習会に参加して 芦安ファンクラブ 堀内 訓

5月20日(金)、芦安小中学校合同森林学習が行われました。私は午後から行われた小学校低中学年の学習を担当させていただきました。芦安小学校には、毎年間伐を行っている学校林がすぐそばにあります。そこには、スギやカラマツが植樹されています。また、学校の横を流れる御勅使川の河川敷にはクロマツやヤシヤブシ、サワグルミなどが個性的な形をした「木の実」をつけています。今回の森林学習は、この樹木達が生み出した「木の実」を使ったクラフト体験を行うことにしました。また、「木の実」を材料にすることによって、活動をしながら「木の実」の名前を覚えてもらいたいと考えました。

さあ、いよいよ体験の始まりです。子どもたちは、試作品の松ぼっくりやドングリで作られた作品を見て大興奮。百均ショップで購入した材料で工夫したお人形やキーホルダー、鉛筆立ての素朴な質感に、今の子どもたちの生活にない何かを感じたのかもしれませんが。子どもたちの活動の様子は、写真を見てください。おもわず、微笑みが浮かんでくること間違いありません。



ドングリで飾りをつけた鉛筆立て



集めた木の実で何を作ろうかな



かわいい動物ができました

つくるのがとても楽しかったです。家に持って帰ったら、妹が作ったものを「ほしい」といったので、あげたらとても喜んでくれました。ありがとうございました。 4年 内藤 ころろ

松ぼっくりで犬を作ったのがとても楽しかったです。ガラスびんにドングリをつけて、鉛筆立てを作りました。家に帰って机の上に置きました。大切に使いたいです。3年 新津 しゅうと



松ぼっくりでキーホルダーを作ろう

「ウォルター・ウェストンの南アルプス」

講演を聴いて

2022年5月28日（土） 櫛形生涯学習センターに於いて、南アルプス市ふるさと人物室第11回展示講演会が開かれた。

「ウォルター・ウェストンの南アルプス」と題して、山梨県山岳連盟顧問の内藤順造氏による講演が行われ、100人近くの聴衆が熱心に耳を傾けた。

内藤順造氏は、20代の頃から南嶺会員として、主に南アルプスや八ヶ岳をフィールドとして山岳活動をして来ており、日本山岳協会の専務理事・副会長等を歴任される等、山梨県はもとより日本の山岳界の第一人者である。

今回の「ウォルター・ウェストン」の紹介講演については、「ウェストンは簡単には説明出来ないよ」と言いながらも、詳細な記録を基に興味深い話を次々に披露し、山を、ウェストンをこよなく愛している事を感じさせてくれた。大変無理な事とは解りつつも、ごく簡単に講演内容を振り返ってみる。

英国人宣教師ウォルター・ウェストンが、外国人として初めて広河原経由で北岳に登頂したのが明治35年（1902年）の8月だった。

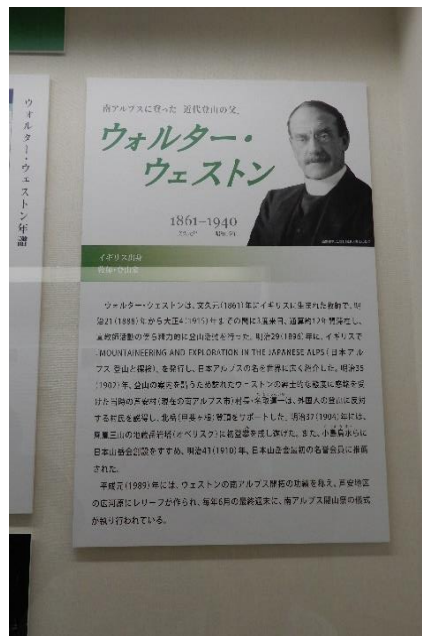


それ以前の日本における登山（山登り）は、頂には神々が住まう霊地と考えられ崇拝され、修行のための登山であった。もう一つは、伐採・炭焼き等で、例えば夜叉神峠や奈良田峠（ドノコヤ峠）などを越えて地元の人々が行き交う、交流の場でもあった。私達がなじんでいる南アルプス芦安地域の100年以上昔の風景である。

ウェストンは明治21年（1888年）以来、日本に3回来ていて、通算約12年間滞在している。

芦安ファンクラブ 清水 毅

その間、日本中央部のあらゆる山に登り、足跡を残している。日本語は出来なかったが日本の山が大好きになったようだ。



南アルプスについても、

- ・天竜川・富士川の間挟まれた3本の山脈（赤石・白峰・駒ヶ岳）を南日本アルプスと呼ぶ。
 - ・うっそうとした森に覆われた山容は北日本アルプスより堂々としている。
 - ・代表する山として甲斐ヶ根（北岳）と鳳凰山を選ぶ。
- と、うれしい言葉を著している。明治36年（1903年）に小島烏水らがウェストンを訪問して交流し、「日本の山岳会」設立のきっかけにもなった。

また、「登山は健康的な環境で行われるスポーツの極致である。人々をこれほど緊密に結び付け、助け合うこと、自信を持つことの大切さを教えてくれるスポーツは他にない」と、講演で「登山の意義」として述べている。

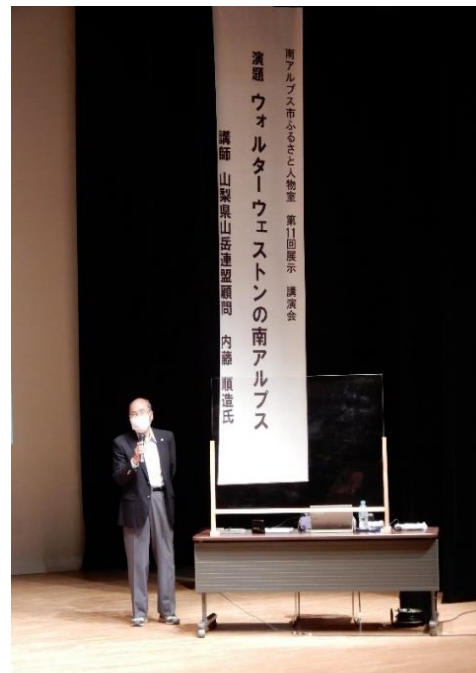
私達にとって、ウェストンの存在は、余りに大きすぎて漠としてつかみ切れていない。今回の講演を聴いて少しは身近に感ずる事ができた気がするが、まだまだ全貌は見えていないのが実情である。

これを機会に是非「ウェストン」に触れて学んで欲しいと、内藤順造氏も言われていた。芦安山岳館にもいくつかの著作や資料が貯蔵されている。主な著書として「日本アルプス登山と探検」「極東の遊歩場」などが翻訳されている。

最後に、内藤順造氏の思いとして、「山の日」について、「山の自然環境の保全」「次世代につなぐ山」「安全な登山」を心掛けて欲しいと、講演を閉じた。盛んな拍手と感謝！

会場入り口近くで、「登」「ウォルター・ウェストン」と題して、ウェストンや南アルプス登山に関する資料が展示され、毎年広河原で行われる開山祭で山の案内人が着ける衣装一式等が展示されていた。

これからは、ウェストンのレリーフも今までとは違った印象で眺めることだろう。



新入会員♪

本堂舞華さん



はじめまして。4月に入会しました本堂舞華（ほんどう まいか）と申します。富士吉田市で生まれ、南アルプス市で育ちました。

大学時代を過ごした長野県で登山の楽しさ、山の魅力を知り、「山に携わる仕事がしたい!」と思い、南アルプス国立公園の管理・自然保護の仕事に就きました。仕事をする中で清水准一さん、芦安ファンクラブと関わらせていただくことが多く、南アルプスの山々や自然に対する想いに刺激を受け、今回入会させていただきました。また、今年は山小屋（北岳山荘）で働かせていただいています。限られた食材での料理、単眼鏡で眺める街の灯り、満点の星空。どれも新鮮で充実した毎日を送っています。

南アルプスとの関わりが多くなるにつれ、南アルプスという山域そのものが大好きになり、南アルプスをもっと知りたいと思うようになりました。まだまだ分からないことだらけですが、芦安ファンクラブの活動を通して、南アルプスの歴史や自然保護などについて学んでいけたらと思っています。どうぞよろしくお願い致します。